

情報連絡員報告を中心とした 県内の中小企業動向 &トピックス・3月

■味噌製造業 【県内全域】

引き続き減収減益傾向にあり、厳しい経営状況が続いている。

■製材業 【県内全域】

全国木材組合連合会主催の「違法伐採対策推進国際セミナー」が2月末に開催された。日本においては伐採、加工、流通の各段階でそれぞれ証明の連鎖によって「合法材」が生まれるわけであるが、本県で認定を受けている事業者は40社程度に過ぎない。

■印刷 【千葉市】

久しぶりに前年同月比が増加し好転した。一過性を憂いている。選挙需要は8%程度上昇させるといわれていて、県内も若干好転した。

■生コン製造 【県内全域】

景況感を底を打った感覚で民需に支えられており官需の落ち込みが課題である。

■土砂採取業 【県内全域】

羽田空港拡張事業の計画が開始されることにより、建設資材（土砂）の関係で、景況に変化が現れるものと思われる。

■鉄工 【千葉市】

特段変化は見られない。

■機械金属製造他異業種

年明け後は、あまり景況に変化がない。前年度よりは業況は良い。

■建築材料卸売 【県内全域】

特段の変化はない。内需は未だ力強さは感じられない。在庫不足が常態化している。出荷は、想定よりは多いが、前年微減程度続く。

■自動車解体業 【県内全域】

鉄スクラップ市況は相変わらず強含みで推移している。国内電炉メーカーの生産意欲が旺盛なことと、スクラップの輸出が好調なことが原因といわれている。

■食肉卸売業 【県内全域】

多少の動き始めたような状況が見えてきた。

■小売 【柏市】

40,000㎡のSCが2店舗連続で開店し、その影響が、柏駅周辺の大型店、商店会に若干ではあるが出ている。

■小売 【東金市】

商材は、春物での展開だが、極端な気候の変化で購買意欲、減退気味。新入学関連商品の購買時期が後ろにずれている。大手でもかなり力を入れてきているので、早めの展開をしたが、実際の購買時期は品定めが厳しい。

■小売 【野田市】

今月は売上よりも客数の減少が見られ、危機感を感じた月であった。

■電気機器小売 【県内全域】

デジタル関連の困り事相談フリーダイヤルによる支援共同受注を準備中。デジタル関連、特に薄型テレビ単価が低下中である。

■中古車仕入・販売 【県内全域】

直販は横ばい以上に好転（本格的復調は流動的）し、手ごたえなどに不安感はあるがムード的には一時期の深刻な状態からは抜け出たと見る向きが多いが、まだまだ波乱含みのようだ。

■農業機械販売整備 【県内全域】

農政は、品種横断的経営安定対策の実施に伴い集落営農への集中化、法人化等により当業界にとっては、利益率の低下、売り上げ不振、集中化による買い控えが発生し、平成18年度の販売実績は全農機商連の調査結果は前年比95.1%でマイナス4.9%となった。特に、米作は不作で値下がりのダブルパンチである。

■小売・サービス 【習志野市】

春の恒例的な変動（卒業、退職、人事異動）に伴って前月比、一割程度上昇した。

■小売・サービス 【銚子市】

非常に悪い、今年に入ってからますます悪くなっている。

■建設揚重 【県内全域】

引き続き操業度は好調を継続、一部供給不足から価格も上昇傾向にある。

■学習塾 【県内全域】

入塾の季節であるが、出足は昨年同様やや遅れ気味である。しかし、私立中学入試が人気上昇中なので、小学生の成績の高い生徒は、大手の中学受験塾へ集中する。

■ソフトウェア業 【千葉市】

年度末ということもあり全体に良好である。ただし、会社間の格差が広がつつあるように思える。

■建設 【県内全域】

当連合会加入組合員の官公庁からの受注は大幅なプラスであった。

■貨物運送 【野田市】

3月の年度末のため期内に納品すべき商品や引越しが増加するため車両不足が生じている。そのため少々価格が好転している気がする。